



南砺市立井波小学校・井波中学校の事例から

富山県南砺市立井波小学校 養護教諭

河村 恵子

砺波地区は、富山県の南西部に位置した、緑豊かな地域です。平成16年のいわゆる平成の大合併により、現在は、小矢部市、砺波市、南砺市の三市で成り立っています。

砺波地区は、富山県内ではフッ化物洗口の最も進んだ地域です。平成16年以降2～3年の間に、小矢部市と砺波市はすべての学校（施設）がフッ化物洗口を取り入れました。南砺市では、未実施施設の実施に向けて、旧8町村の中で歯科保健施策の進んでいた学校（施設）において、歯科医師会と共同で研修会を企画し、意識のレベルアップを図る取り組みが進められました。現在、3市の幼稚園・保育園（所）、小中学校、合計103校（施設）のうち、未実施校はわずか1校のみです。

この砺波地区で、フッ化物洗口を最初に取り入れたのが、南砺市内の旧井波町です。平成3年9月、井波町保健センターが中心になり、「井波町むし歯予防半減10ヵ年運動」事業がスタートし、井波町の幼稚園・保育所の6園の年長児にフッ化物洗口を実施することになりました。翌年、平成4年4月に小学校に入学した1年生の保護者から要望が上がり、井波小学校でもフッ化物洗口を開始することになりました。その後3年間は、学年持ち上がり方式で進められました。

平成6年には、井波中学校でも実施計画がもち上がりました。しかし、中学校での実施計画には、学校内の職員の間でも、安全性や効果などに疑問をもつ人や、現場の混乱の指摘などがあり、スムーズに受け入れられませんでした。そこで、PTA厚生委員会が中心となり保護者・教職員を対象とした講演会や、生徒を対象とした全校集会などを重ね、フッ化物洗口に対する正しい知識の定着に努めました。講演会や全校集会後のアンケートの結果、84%が希望することになり、生徒会保健体育委員会の取り組みとして、9月から実施に移されました。（当時、周囲の中学校では、まだどこも実施しておらず、県内では富山市で1校あるのみでした。）

井波中学校がフッ化物洗口を取り入れたことは、井波小学校で未実施の4～6年生への実施に向け大きく影響しました。9月以降、保護者への講演などを実施し、理解を得ることができました。3年の歳月をかけ、平成7年に、旧井波町では幼・保・小・中の全校（施設）でフッ化物洗口が実施されることになりました。

私は、井波中学校にフッ化物洗口実施半年後の平成7年に赴任しました。初めのうちは、薬剤の管理、洗口用具の衛生管理、生徒の実施の監督、未実施生徒への対応など、従来とは異なった仕事加わったこともあり大変緊張しました。しかし、数年のうちに、フッ化物洗口の効果を感じられるようになりました。とくに、幼稚園、保育所から継続して実施してきた生徒が入学してからは、生徒一人当たりのう歯数の急激な減少や、生徒自身が、フッ化物洗口を自分の健康を育む取り組みとして意識をもって実施していることがわかりました。さらに、「県民歯の健康プラン」の「井波町むし歯予防パーフェクト作戦事業」に、永久歯むし歯予防事業の位置付けがされ、毎年、むし歯や歯肉炎のない中学3年生が「歯っぴースマイル大賞」を受け、歯をとおした健康生活の定着を感じました。

現在も、学校現場でフッ化物洗口を実施することに一部に異論を唱える人がいます。砺波地区のような公費負担での経済的支援により、保護者や子どもたちの健康意識の向上（健康教育）、健康習慣の育成、生涯にわたる健康の基盤づくりなど、健康づくりの支援活動として、フッ化物洗口は有効に役立っているものと思います。さらに、この地域に住みフッ化物洗口が出来ることで、今まで見られたような健康格差はほとんど無くなることと思います。

今年4月、再び井波小学校に赴任し、歯科健康診断で子どもたちの白い歯、ピンクの歯肉を見ると、平成3年に、フッ化物洗口事業の実施からスタートさせようと努力された当時の担当者の皆様方のご苦勞に敬意を表します。



富山県の歯科保健対策について －むし歯予防対策を中心に－

富山県厚生部健康課母子・歯科保健係

片岡 照二郎

富山県では、県民の健康の基本となる歯と歯ぐきの健康づくりを総合的、体系的に推進するために「富山県歯の健康プラン」を平成7年に策定し、むし歯予防対策を中心として各種歯科保健事業を展開しました。さらに、健康への関心の一層の高まりや食生活の変化、国における「健康日本21」の策定など歯科保健医療対策をめぐる状況が大きく変化したことなどにより、新たな課題にも対応した歯と歯ぐきの健康づくりの目指すべき方向を示す必要があり、平成13年に「県民歯の健康プラン」を策定しました。

これらの2つのプランにおいて、継続して実施している事業の一つには、フッ化物応用を含む総合的なむし歯予防対策である「むし歯予防パーフェクト作戦事業」があります。

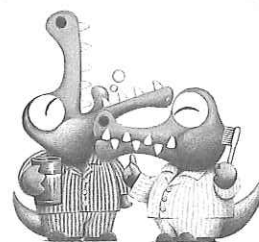
「むし歯予防パーフェクト作戦事業」は、妊婦（胎児）から中学生までを重点ライフステージとした、フッ化物応用を含めたむし歯予防事業を実施する市町村に対して、富山県が支援するものです。

その結果、富山県全体としては、むし歯有病状況の改善、フッ化物歯面塗布を実施する市町村やフッ化物洗口を実施する施設の増加などの効果が現れています。

また、平成20年度には、「富山県におけるむし歯予防のためのガイドブック」を富山県歯科医師会や富山県歯科保健医療対策会議のご協力により作成したところであり、むし歯予防対策を推進する体制の強化や各関係者への普及啓発に努めているところです。

これからも、むし歯予防をはじめとした歯科保健対策を展開することにより、県民の健康づくりに積極的に取り組みたいと考えています。

富山県における
むし歯予防のためのガイドブック



平成21年2月

富山県
(社)富山県歯科医師会
富山県歯科保健医療対策会議